

叙勲 受章おめでとうございます

【第46回危険業務従事者叙勲】

瑞宝双光章

消防功労

元大洲地区広域消防事務組合
消防司令長宮野 ^{まさかず} 雅一 さん
(長浜町沖浦)

【春の叙勲】

瑞宝双光章

地方自治功労、教育功労

元大洲市公平委員会委員長
元公立小学校長笹山 ^{まこと} 允 さん
(柚木)

【春の叙勲】

瑞宝双光章

更生保護功労



保護司

竹田 ^{ひでのぶ} 秀延 さん
(柳沢)

アジサイがっないだ地域の絆

ほう ゆう かい りょくじゅ ほうじょう 豊友会が緑綬褒状を受章

豊茂地区で環境美化などに取り組む「豊友会（会員24人）」が、長年にわたる地域への社会貢献活動が評価され、春の褒章で「緑綬褒状」を受章しました。

同会は1967年に発足以来、半世紀以上にわたり地域奉仕活動を続けています。1991年からは、豊茂地区の入り口から金山出石寺へと続く県道沿いを「アジサイロード」にしようと、斜面の空き地を見つけては少しずつアジサイを植栽し、大切に育ててきました。

2001年には愛媛県から「愛ロードサポーター」の認定を受け、道路改良工事で生まれた空き地を花壇として整備するなど、美しい景観づくりに尽力しています。このほか、イルミネーションや人面岩を活用した地域おこしなどの活動も続けています。

松田浩^{ひろし}会長は「先輩方や現在のメンバー、そして地域のみなさんの協力があってこそその受章。これからも、みんなが笑顔で、無理のない範囲で活動を続けていきたい」と喜びと今後の抱負を語りました。



1



2



3



4

1_豊友会のみなさん

2_あじさいロード

3_イルミネーションの設置

4_二宮市長へ受章を報告

水害に備え、水防工法を実践

出水期に備え、水防技術の向上と伝承を図るとともに、水防活動を担う技術的リーダーを育成する「肱川水防工法講習会（国土交通省主催）」が5月24日(日)、肱川防災ステーション（若宮）で行われました。

講習会には、国土交通省や愛媛県、大洲市、消防団、自主防災組織などから約160人が参加。堤防から水が漏れ出したときに、土のうを輪のように積んで、堤防が壊れるのを防ぐ「月の輪工」やロープワークなどの実践訓練に取り組み、水防技術の習得と連携強化を図りました。



きれいなまちをみんなの手で

毎年恒例の^{ごみゼロ}530運動が、5月31日(日)に開催されました。約700人の参加者は、自宅などからゴミを拾いながら喜多小学校まで歩いて集まり、地域の環境美化に取り組みました。

会場では、大洲北中学校吹奏楽部による演奏やよさこい演舞が披露されたほか、浄化槽協会によるパネル展示などの啓発活動も行われ、参加者は楽しみながら環境への理解を深めていました。

また、手作りのうどんが無料で提供され、参加者は持参したマイ箸を使って温かいうどんを味わっていました。



肱川に親しみ笑顔あふれる一日

うかいやカヌーなどのシーズン幕開けを記念したイベント「肱川かわびらき」が5月31日(日)、みどりのかわみなと（肱川緑地公園）やしろしたかわみなと（うかい下船場）を会場に開催されました。

会場では、カヌー・SUP体験をはじめ、音楽ライブやお菓子まき、各種出店など多彩な催しが行われました。初夏の川辺は、肱川に親しみながら楽しむ多くの人でにぎわいました。



新しい地域おこし協力隊員が着任

大洲市の森林管理などに取り組むため、塚田^{しげる}滋さん（埼玉県から転入）が6月1日(月)、地域おこし協力隊として着任しました。この日、二宮市長から辞令書を受け取った塚田さんは、「人を笑顔にし、世のため、人のためにがんばりたい」と抱負を語りました。塚田さんは昨年、東京で開催された移住定住フェアを訪れた際、市の林政アドバイザーから大洲の様子を聞き、埼玉県の秩父地方と似た雰囲気や親しみを感じて、移住を決めました。これから森林整備等を通じて里山の活性化に取り組むことになっています。





地域の人々がつなぐ 柳沢ほたるまつり

柳沢ほたるまつりが6月6日(土)に開催されました。柳沢地区と田処地区では、矢落川沿いをゲンジボタルが幻想的に舞うこの時期に合わせて、毎年ほたるまつりを開催しており、今回で51回目を迎えました。

会場となった旧柳沢小学校では、各種バザーのほか、和太鼓や新谷中学校総合文化部による吹奏楽、藤縄神楽など多彩な催しが行われ、訪れた人たちは初夏のひとときを楽しんでいました。



歴史的建造物で楽しむ初めての能

市指定有形文化財「盤泉荘」で6月7日(日)、「盤泉荘で楽しむ初めての能」イベントが開催され、午前の部と午後の部合わせて46人が参加しました。

能楽師シテ方観世流の松井美樹氏らを講師に迎え、参加者は大洲市と能の深い歴史を学びながら実演の鑑賞や謡の体験を楽しみました。

市内から参加した女性は「大洲と能の関係など知らないことをたくさん教えてもらえたり、間近で能を観たりできてよかった」と笑顔で語っていました。



雨にも負けず、日頃の訓練成果を披露！

日頃の消防訓練の成果を競う「第35回愛媛県消防操法大洲喜多地区大会」が6月7日(日)、八幡浜・大洲地区運動公園で開催され、大洲喜多地区の消防団4チームが出場しました。大会では、ポンプ車操法の正確性やスピードを競い、あいにくの雨の中ではありますが、各チームとも節度ある動きで素晴らしい操法を披露していました。なお、肱北分団第1部は、7月26日(日)に松山市で開催される本大会に出場予定です。



こだわりの自信作 4品目を新たに認定

大洲ええモンセクション認定審査会が6月24日(水)、市役所であり、市内事業者が作る洋菓子やかんきつ調味料、レトルト食品など4品目が新たに認定されました。

今年度は、この4品目を含め30事業者72品目の名菓や加工食品、農林水産物、酒類、工芸品などが認定され、物産展への優先出展や市長トップセールスなどを通して、認定品を県内外に紹介し、特産品の販売拡大と市のイメージアップを図ることになっています。